







ホシホシヨシホシ

2

4

リーダーとの関係性に悩み、局内で異動。 ようやく落ち着いて、新しい挑戦を 前向きに捉えられるようになった

初配の得意先はそれほど大きなアカウントではなく、若手も裁量があり、部長や先輩は、何かあれば自分たちが出ていくから好きにやっていいというチーム環境だった。

一方、二配の得意先は比較的大きなアカウントで、事業/ブランドごとにリーダーがいて、リーダー同士の競争意識が強い。自分がついたリーダーはマイボール感が強く、なかなか裁量を与えてもらえなかった。

そのリーダーのスタイルに適應する努力を続けたが、やはりどうしても合わず、部長に相談した。話し合いを続けた結果、局内の別のチームに異動することになった。

今のディレクターは、ある程度仕事を任せてくれて、メンバーに対してもしすぺくと持ッて接してくれる。ようやく居心地の良さを感じられるようになった。

今の得意先は、初配の得意先より予算が大きいので、制作營業としての幅を広げるチャンスだと思う。前向きに取り組めるこの環境で自分の成長につなげていきたい。（CS異動者）

個人の成長志向と組織再編を機に、 強みを活かせるデジタル領域へ

初配は、大手の得意先のデジタル業務に配属された。繁忙を極めたが、獲得数を追いかけてながらプランニングしていく仕事に、大きなやりがいを感じた。

二配では制作營業になり、やりたかったTVCM制作ができた。しかし、制作業務の定性的な世界や当時のチームスタイルが、自分自身の志向と必ずしも完全に合致するわけではないと感じた。

そんな折、局横断でメディア領域を統括する新部署が発足し、デジタル領域の専門性を見込まれてそのメンバーとして招集されたため、デジタルメディア業務をメインで担当することになった。

今後、オンライン寄りの業務やアクティベーション領域などをやってみたい気持ちもあるが、まずは制作業務で身につけた業界知見と、元々の強みであるデジタル業務を掛け合わせて貢献していきたい。（CS異動者）

リーダーとの関係性に悩み、局内で異動。 ようやく落ち着いて、新しい挑戦を 前向きに捉えられるようになった

初配の得意先はそれほど大きなアカウントではなく、若手も裁量があり、部長や先輩は、何かあれば自分たちが出ていくから好きにやっていいというチーム環境だった。

一方、二配の得意先は比較的大きなアカウントで、事業/ブランドごとにリーダーがいて、リーダー同士の競争意識が強い。自分がついたリーダーはマイボール感が強く、なかなか裁量を与えてもらえなかった。

そのリーダーのスタイルに適応する努力を続けたが、やはりどうしても合わず、部長に相談した。話し合いを続けた結果、局内の別のチームに異動することになった。

今のディレクターは、ある程度仕事を任せてくれて、メンバーに対してもリスペクトを持って接してくれる。ようやく居心地の良さを感じられるようになった。

今の得意先は、初配の得意先より予算が大きいので、制作営業としての幅を広げるチャンスだと思う。前向きに取り組めるこの環境で自分の成長につなげていきたい。（CS異動者）

個人の成長志向と組織再編を機に、 強みを活かせるデジタル領域へ

初配は、大手の得意先のデジタル業務に配属された。繁忙を極めたが、獲得数を追いかけてながらプランニングしていく仕事に、大きなやりがいを感じた。

二配では制作営業になり、やりたかったTVCM制作ができた。しかし、制作業務の定性的な世界や当時のチームスタイルが、自分自身の志向と必ずしも完全に合致するわけではないと感じた。

そんな折、局横断でメディア領域を統括する新部署が発足し、デジタル領域の専門性を見込まれてそのメンバーとして招集されたため、デジタルメディア業務をメインで担当することになった。

今後、オフライン寄りの業務やアクティベーション領域などをやってみたい気持ちもあるが、まずは制作業務で身につけた業界知見と、元々の強みであるデジタル業務をかけ合わせて貢献していきたい。（CS異動者）

ストレッチ

6

職 転

初めてのビジネスプロデュース職、
わからないことだらけです



成長への視点

異動当初は、わからないことが多いと焦るかもしれませんが、
深いメディア知見を持つBP職/スタッフ職や、プランニングとプロデュースを
越境した人材が益々求められる中、職転者は一歩リードしているとも言えます。
その多角的な視点をぜひ生かしていきましょう。